

令和3（2021）年5月13日

保護者様

台中日本人学校長 田中 肇

感染レベル引き上げに伴う学校行事の変更について

平素より、本校教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、保護者の皆様もご存じかと思いますが、台湾国内に感染源の不明な本土感染者の事例が発生したことをうけ、衛生福利部は感染警戒レベルを第2級に引き上げました。期間は5月11日から6月8日までです。（詳細は裏面をご確認ください。）さらに、台中市教育局からも修学旅行や校外学習はキャンセル・延期にする旨が発表されました。

については、本校としても感染防止のため、本日から6月8日までの行事および諸活動を中止いたします。児童生徒の気持ちを思うと大変心苦しいのですが、何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

1 取組期間

5月13日（木）～6月8日（火）

2 中止となる行事・諸活動

運動会、部活動、体力テスト、中学部修学旅行、大竹國小交流、避難訓練、縦割り清掃、
校外学習 委員会活動 ※5月30日（日）英語検定は実施

3 感染防止の取組の基本的な考え方

- (1) 外部との交わりを出来るだけさける。
- (2) 異学年の交わりを出来るだけさける。

4 中止に伴う登校日および下校時刻の変更について

- (1) 5月14日（金）の下校時刻の変更はありません。
- (2) 5月22日（土）は週休日、5月24日（月）は登校日となります。
- (3) 5月17日（月）～6月8日（火）は、部活動を行いませんので、月曜日と金曜日の下校時間が変更します。別紙「5月学校行事予定表(5.13版)」に下校時刻を示しますのでご確認をお願いいたします。

<問い合わせ先>

担当：教頭 牧野正彦

TEL:04-2567-2079

衛生福利部疾病管制署プレスリリース（仮訳）

コミュニティ感染リスクが高まったため、中央流行疫情指揮中心（CECC）は、即日（5月11日）から6月8日まで、感染状況の警戒レベルを第2級に引き上げ、関連の制限措置を実施し、コミュニティの防衛線を厳格に守る。

中央流行疫病指揮中心（CECC）は本（11）日、台湾国内に感染源の不明な本土感染者の事例が発生し、コミュニティ感染のリスクが高まったことに対応し、継続的なコミュニティ感染を防止するため、即日（5月11日）から6月8日までの計4週間、感染状況の警戒レベルを第2級である「感染源不明な本土感染者事例が発生」に上げるとともに、個人及び外出、集会活動、営業エリア、公共交通機関に対し以下の関連の制限措置を実施することを発表した。

1. 人込みの多い場所を避け、感染リスクの高い場所では、市民は規定によりマスクを常時着用しなければならない。規定を守らず、説得に応じない場合、厳しく罰金を科せられる。
2. すべての集会活動について、ソーシャル・ディスタンスの維持、マスクの常時着用、仕切り板の使用が必要であり、また、「実名登録制」、検温、消毒、人の流れのコントロール、人数制限、動線プラン等の措置を実施せねばならず、実施しない場合、中止しなければならない。
3. 原則的に屋外500人以上、室内100人以上の集会活動を停止とする。但し、固定席で一定の距離が保たれており、実名登録制、マスクの常時着用、飲食の禁止が可能である場合、集会活動についての防疫計画を地方主管機関に提出し、許可を取得することにより、実施が可能である。
4. 営業エリア及び公共の場所では市民のソーシャル・ディスタンスの維持、マスクの常時着用、仕切り板の使用を確保し、実名登録制をとり、検温、手指の消毒、場所の清掃・消毒、人の流れのコントロール、人数制限、動線プラン等の防疫措置を実施しなければならない。これらの措置を実行できない場所は営業を暫く停止しなければならない。必要な場合、レジャー娯楽施設及び公共の場所を強制的に閉鎖させる。
5. 飲食業は「飲食実名登録制」、定期的な場所の清掃・消毒を実施し、従業員はマスクを着用し、頻繁に手洗いをし、また、顧客に対し検温、手指の消毒、取り箸の提供等、個人の防護措置に協力する。特定できない対象が相席をして一緒に食事をする場合、適切な間隔の維持、仕切り板の使用が必要であり、これらの措置を実施できない業者については、市民に料理をテイクアウトするよう勧める。
6. 台湾鉄道、高速鉄道（新幹線）、長距離バス等の公共交通機関での飲食を禁止する。5月

15日から、台湾鉄道と高速鉄道（新幹線）の立ち席特急券の販売を禁止する。

同中心は、以上の措置について、それぞれの事業主管機関及び地方政府が監督及び検査を強化し、市民は必ずこれに従い、コミュニティの防衛線を共に厳格に守るよう注意喚起する。